

# ボランティアセミナー

**趣旨** 青少年教育施設でのボランティア活動について目的や内容を理解するとともに、意欲を行動につなげる具体的な手立てを学ぶ取組で、ボランティア活動の実践力を身に付ける。

## 企画運営のポイント

1. オンラインでの実施とし、それぞれの学生が動画を見ながら課題に取り組んだ。
2. 動画は、できる限り当施設のことがわかるように作成した。
3. 学生が提出した課題をもとにオンライン上でグループワークを行った。

## 内容

11/14 (土)

①オンライン講義Ⅰ：ガイダンス、青少年教育について

11/15 (日)～11/27 (金)

②オンデマンドⅠ：ボランティア活動の意義（視聴後、課題提出）

講師 NPO 法人 ezorock 草野 竹史 氏

③オンデマンドⅡ：ボランティア活動の技術と安全管理（視聴後、課題提出）

講師 NPO 法人 どんころ野外学校 新野 和也 氏

④オンデマンドⅢ：青少年教育施設の現状と運営（視聴後、課題提出）

講師 国立日高青少年自然の家 次長 佐藤 英樹

11/28 (土)

⑤オンライン講義Ⅱ：ふりかえり、青少年教育施設におけるボランティア活動について

## 参加者の声

- ・最初から最後まで逐一メールをくださってとても助かりました。課題をやると日高でやっているボランティアの内容について詳しくなることができました。
- ・実際の活動を忠実に再現し、問題点を汲み取りやすいような動画を作成くださり、理解度が深まりました。
- ・オンラインではあったが、一人一人のボランティアに対しての思いや、施設がどのように成り立っているのか新しいことを多く知れた。
- ・ボランティアに参加したい気持ちが増した。
- ・わからないことはすぐに聞けたし答えていただいた。
- ・問題があってもスムーズに進めていて時間内に終わることができていた。
- ・参加者がとても話しやすい進み方だった。
- ・回線の関係で聞き取りにくい場面はありましたが、その都度メールでの丁寧な対応や補足がありました。
- ・紙に書いて画面に映したり、グループ分けで考えを共有できた。
- ・問題なく受けられましたが、救急法は自分のやり方があるか把握することができませんでした。
- ・スタッフが優しく丁寧でよかった。でも実際に活動したかった。
- ・やはり直接聞きたかった。

## 【成果】

- ・動画は、宿泊事業を想定して、実際にボランティアとして活動した時に起こり得る課題を設定した。
- ・オンデマンドの特性を活かして、学生が自分のペースで学習を進めることができた。オンラインの日程も学生に合わせて柔軟に対応することで学生が参加しやすかった。
- ・グループワークでは、学生が事前に考えをまとめておき、小グループに分かれて交流したことで自分の意見を整理しやすかった。
- ・オンライン上での交流は自分の意見が伝えやすくなり、活発な交流ができた。

## 【課題】

- ・日高に来たことがない学生が多く、フィールドや活動のイメージが持ちにくかった為、映像等の工夫が必要である。
- ・事務室の通信機器の不具合で音声途切れたり、画像が不明瞭なところがあったことから、できるかぎり実地での実習が必要である。
- ・課題の提出や法人ボランティア登録を忘れてしまう学生が多かったことから、担当者が定期的に学生に連絡を送る必要がある。



期日：令和2年11月14日(土)

～11月28日(土)

対象：高校生、大学生、社会人など

人数：高校生5名、大学生17名

社会人1名 計23名